



(様式2)

平成29年12月8日

京丹後市議会議長 様

会派名 丹政会

代表者氏名 池田 恵一

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1 日程

平成29年11月30日(木)～12月1日(金)

2 場所

- 参議院議員会館1階講堂 30日
- 国土交通省 1日

3 目的

- 山陰近畿自動車道整備促進決起大会に出席しての要望活動
- 国土交通省へ「山陰近畿自動車道の早期整備に関する要望書」の提出

4 該当する政務活動費の用途項目

要請・陳情活動

5 支出経費の内訳と金額

経費合計 164,040円(内訳別紙参照)

6 参加議員名

池田恵一、谷津伸幸、中野勝友、東田真希

7 調査研究成果の概要、所見

8 成果物、資料等

行程表

月日	スケジュール
11月30日(木)	京丹後市
	京都駅
	東京駅
	15:00 参議院議員会館
	15:15~16:00 山陰近畿自動車道整備推進決起大会(1階講堂)
宿泊先	アパホテル〈半蔵門 平河町〉
住所	〒102-0093 東京都千代田区平河町1丁目3-5
TEL	03-3556-7660
12月1日(金)	ホテル
	10:30 参議院議員会館
	11:20~12:00 国土交通省
	山陰近畿自動車道の早期整備に関する要望書の提出
	11:20 岡西康博 総括審議官(内閣審議官)
	11:45 石川雄一 道路局長
	東京駅
	京都駅
京丹後市	

※ 国土交通省 岡西総括審議官については、緊急の公務が入り面会出来ず。

山陰近畿自動車道の早期整備に関する

要 望 書

平成29年11月

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に広域高速道路網の整備は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路の空白地帯になっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

近年発生している地震災害やゲリラ豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも山陰近畿自動車道の早期整備は不可欠であります。

また、本市においては、国益に直結する安全保障のための重要なレーダー施設が配備されており、万が一の危機管理を想定しておくことが絶対不可欠であります。いかなる場合にも、住民の円滑な避難行動を可能にし、都市部からの迅速なバックアップ体制を整えるため、都市部と連結する広域幹線道路網の整備が喫緊に重要不可欠であります。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路の一日も早い完成に向け、事業進捗に必要な予算を確保されたい。
- 2 大宮峰山 I C から網野 I C までを、国により早期に事業化されたい。
- 3 網野 I C から府県境までの区間について、ルート決定に向けた本調査を実施されたい。

平成 29 年 11 月 30 日

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟
会 長 谷 津 伸 幸

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟

会 長 谷 津 伸 幸

副会長 池 田 恵 一

副会長 金 田 琮 仁

幹 事 谷 口 雅 昭

幹 事 浜 岡 大 二 郎

幹 事 由 利 敏 雄

幹 事 松 本 聖 司

櫻 井 祐 策

中 野 正 五

中 野 勝 友

東 田 真 希

平 井 邦 生

藤 田 太

松 本 経 一

水 野 孝 典

行 待 実

吉 岡 豊 和

和 田 正 幸